

中学校社会科における社会的な見方や考え方を 育成する指導と評価の在り方に関する研究

- 「関心・意欲・態度」「思考・判断」を見取る評価プランの作成と活用をとおして -

補助資料目次

1 第1年次の授業実践の資料

「世界恐慌と日本の中国侵略」(第2学年)

【資料1】単元の指導と評価計画表.....	1
【資料2】単位時間毎の授業展開案.....	2
【資料3】学習プリント.....	6
【資料4】振り返りシート.....	9
【資料5】事前テスト.....	11
【資料6】事後テスト.....	13

2 第2年次の授業実践の資料

「古代国家の歩みと東アジア世界」(第1学年)

【資料7】単元の指導と評価計画表.....	15
【資料8】単位時間毎の授業展開案.....	16
【資料9】学習プリント.....	23
【資料10】振り返りシート.....	26
【資料11】事前テスト.....	28
【資料12】事後テスト.....	30
【資料13】意識調査用紙.....	32

【資料1】単元の指導と評価計画表(第1年次の授業実践)

第6章 二度の世界大戦と日本 【世界恐慌と日本の中国侵略】の指導と評価計画表

単元の指導目標	単元の評価規準					
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
(1) 昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きに対する関心を高めさせ、意欲的に追究させる。 (2) 昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きについて多面的・多角的に考察させ、公正に判断させる。 (3) 昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きに関する資料を収集させ、有用な情報を選択・活用させるとともに、課題を追求し考察した意図や結果をまとめさせる。 (4) 昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きに着目させ、経済の混乱と社会問題の発生、軍部の台頭から日中戦争までの経過を理解させ、その知識を身に付けさせる。	関心・意欲・態度 ・昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きに対する関心を高め、意欲的に追究している。	思考・判断 ・昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きについて多面的・多角的に考察し公正に判断している。	技能・表現 ・昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きに関する資料を収集し、有用な情報を選択・活用させるとともに、課題を追求し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	知識・理解 ・昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きに着目させ、経済の混乱と社会問題の発生、軍部の台頭から日中戦争までの経過を理解し、その知識を身に付けている。		
学習内容	時	学習目標・学習内容	学習活動における具体的評価規準		実現状況に応じた指導	
1 世界恐慌とブロック経済	1	目標 ・世界恐慌がおこった経緯をとらえ、その対策としてのニューディール政策やブロック経済、ドイツにおけるファシズムの台頭について理解する。 ・第一次世界大戦後の世界情勢を確認する。 ・資料から世界恐慌のあらましに関して分かることを発表する。 ・当時の列強国の世界恐慌への対応策を調べる。 ・恐慌以前と以後の国際情勢を比較し、恐慌の歴史の意味を考え、発表する。 ・本時の振り返りを行う。	関心・意欲・態度 ・世界恐慌がおこった経緯やそれに対する欧米諸国の対応について関心や疑問をもったことをシートに記入している。(振り返りシート)	思考・判断 【比較・分類】 ・世界恐慌前後の国際情勢を比較し、恐慌の歴史の意味について考察し学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)	知識・理解 ・世界恐慌がおこった経緯をとらえ、それに対する欧米諸国の対応について理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(確認テスト)	関心・意欲・態度 ・前単元までの歴史の流れを確認し、国際状況のみに着目させるために板書で知識を整理させる。また、他の時代の変化を取り上げ、具体例をあげてまとめ方を指導する。
		学習活動 ・世界恐慌の影響による日本経済の混乱や農業不況による国民生活の困窮の様子をとらえ、その対応策について考える。 ・世界恐慌の発生と各国の対応策について確認する。 ・恐慌の日本への影響をつかむ。 ・「満蒙問題」について、石原莞爾と石橋基山の考え方を確認する。 ・当時の状況を考えて、自分ならばどちらの意見を採用するの判断する。 ・他人の発表を聞いて、最後にもう一度自分の考えを書く。 ・本時の振り返りを行う。	技能・表現 【因果・関連】 ・世界恐慌の影響による国民生活の困窮とその対応策について多角的に考察し学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)	知識・理解 ・「満蒙問題」に対する石原と石橋のそれぞれの考えを資料から読み取り学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)	知識・理解 ・資料の具体的な主張の違いの箇所に下線を引かせ、両者の考えを簡単に整理し、日本の現状を具体的に指摘したり、前時の学習内容を確認するなどして、判断に根拠を持たせる。また、グループの中で出された意見を参考にするように指示する。	
2 欧米の情勢と日本	1	目標 ・満州事変後、二二六事件などをきっかけに軍部が次第に発言力を強めていったことを理解する。 ・満蒙問題について確認する。 ・リットン調査団に関する資料から満州事変のあらましをつかむ。 ・新聞記事資料などから五五事件と二二六事件のあらましを調べる。 ・満州事変、五五事件、二二六事件が政治や社会に及ぼした影響について関連を考え、発表する。 ・本時の振り返りを行う。	関心・意欲・態度 ・満州事変から国際連盟脱退までの経緯や国内政治の中で軍部の発言力が增大していったことについて関心や疑問をもったことをシートに記入している。(振り返りシート)	思考・判断 【因果・関連】 ・満州事変や五五事件、二二六事件の経緯をとらえ、事件の背景やその後の政治に及ぼした影響を考察し学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)	知識・理解 ・世界恐慌から満州事変に至る流れや二二六事件等の軍部の台頭に際する国内情勢の共通性に着目させ、三つの出来事に関連するキーワードを板書から見つけさせ、そのつながりを考えさせる。また、グループの中で出された意見を参考にするように指示する。	
		学習活動 ・満州をめぐって対立から日中戦争が始まったことや中国の抵抗によって戦争が長期化していったことを理解する。 ・世界恐慌から満州事変までの流れを確認する。 ・当時の官製スローガンの看板などから統帥経済下の国民生活をつかむ。 ・日中戦争開戦までの経緯について調べる。 ・地図などから日中戦争の長期化のようすを読み取り、発表する。 ・斎藤隆夫の演説から、政府、議会、軍部の問題点を考える。 ・本時の振り返りを行う。	技能・表現 ・地図を活用して日本軍の進路や占領年などから日中戦争の広がりや長期化のようすを読み取り学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況)	知識・理解 ・日中戦争の経緯をとらえ、国民生活が次第に統制されていった状況を理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(確認テスト)	知識・理解 ・日中戦争開戦の経緯やその長期化による国民生活への影響に関する記述に対する価値付けをする。またその後の日中戦争の行方への関心につなげるコメントを記入する。	
3 日本の中国侵略	1	目標 ・満州事変後、二二六事件などをきっかけに軍部が次第に発言力を強めていったことを理解する。 ・満蒙問題について確認する。 ・リットン調査団に関する資料から満州事変のあらましをつかむ。 ・新聞記事資料などから五五事件と二二六事件のあらましを調べる。 ・満州事変、五五事件、二二六事件が政治や社会に及ぼした影響について関連を考え、発表する。 ・本時の振り返りを行う。	関心・意欲・態度 ・日中戦争開戦までの経緯や戦争の長期化のあらましについて関心や疑問をもったことをシートに記入している。(振り返りシート)	思考・判断 【因果・関連】 ・満州事変や五五事件、二二六事件の経緯をとらえ、事件の背景やその後の政治に及ぼした影響を考察し学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)	知識・理解 ・世界恐慌から満州事変に至る流れや二二六事件等の軍部の台頭に際する国内情勢の共通性に着目させ、三つの出来事に関連するキーワードを板書から見つけさせ、そのつながりを考えさせる。また、グループの中で出された意見を参考にするように指示する。	
		学習活動 ・満州をめぐって対立から日中戦争が始まったことや中国の抵抗によって戦争が長期化していったことを理解する。 ・世界恐慌から満州事変までの流れを確認する。 ・当時の官製スローガンの看板などから統帥経済下の国民生活をつかむ。 ・日中戦争開戦までの経緯について調べる。 ・地図などから日中戦争の長期化のようすを読み取り、発表する。 ・斎藤隆夫の演説から、政府、議会、軍部の問題点を考える。 ・本時の振り返りを行う。	技能・表現 ・地図を活用して日本軍の進路や占領年などから日中戦争の広がりや長期化のようすを読み取り学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況)	知識・理解 ・日中戦争の経緯をとらえ、国民生活が次第に統制されていった状況を理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(確認テスト)	知識・理解 ・日中戦争開戦の経緯やその長期化による国民生活への影響に関する記述に対する価値付けをする。またその後の日中戦争の行方への関心につなげるコメントを記入する。	
4 日中全面戦争	1	目標 ・満州をめぐって対立から日中戦争が始まったことや中国の抵抗によって戦争が長期化していったことを理解する。 ・世界恐慌から満州事変までの流れを確認する。 ・当時の官製スローガンの看板などから統帥経済下の国民生活をつかむ。 ・日中戦争開戦までの経緯について調べる。 ・地図などから日中戦争の長期化のようすを読み取り、発表する。 ・斎藤隆夫の演説から、政府、議会、軍部の問題点を考える。 ・本時の振り返りを行う。	関心・意欲・態度 ・日中戦争開戦までの経緯や戦争の長期化のあらましについて関心や疑問をもったことをシートに記入している。(振り返りシート)	思考・判断 【因果・関連】 ・満州事変や五五事件、二二六事件の経緯をとらえ、事件の背景やその後の政治に及ぼした影響を考察し学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)	知識・理解 ・世界恐慌から満州事変に至る流れや二二六事件等の軍部の台頭に際する国内情勢の共通性に着目させ、三つの出来事に関連するキーワードを板書から見つけさせ、そのつながりを考えさせる。また、グループの中で出された意見を参考にするように指示する。	
		学習活動 ・満州をめぐって対立から日中戦争が始まったことや中国の抵抗によって戦争が長期化していったことを理解する。 ・世界恐慌から満州事変までの流れを確認する。 ・当時の官製スローガンの看板などから統帥経済下の国民生活をつかむ。 ・日中戦争開戦までの経緯について調べる。 ・地図などから日中戦争の長期化のようすを読み取り、発表する。 ・斎藤隆夫の演説から、政府、議会、軍部の問題点を考える。 ・本時の振り返りを行う。	技能・表現 ・地図を活用して日本軍の進路や占領年などから日中戦争の広がりや長期化のようすを読み取り学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況)	知識・理解 ・日中戦争の経緯をとらえ、国民生活が次第に統制されていった状況を理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(確認テスト)	知識・理解 ・日中戦争開戦の経緯やその長期化による国民生活への影響に関する記述に対する価値付けをする。またその後の日中戦争の行方への関心につなげるコメントを記入する。	
5 単元のまとめ	2	目標 ・単元の学習を振り返り、自己の変容や課題、学習内容に対する新たな疑問・発見を理解する。 ・評価問題(単元テスト)に取り組み、振り返りシートをまとめる。 ・評価問題の実現状況に応じたコース別学習を行う。	関心・意欲・態度 ・昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きに着目させ、経済の混乱や社会問題の発生、軍部の台頭から日中戦争までの経過を理解し、その知識を身に付けている。	思考・判断 ・昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きについて多面的・多角的に考察し公正に判断している。(評価問題)	知識・理解 ・昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きに着目させ、経済の混乱と社会問題の発生、軍部の台頭から日中戦争までの経過を理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(評価問題)	知識・理解 ・昭和初期から第二次世界大戦直前までの我が国の政治・外交の動き、欧米諸国の動きに着目させ、経済の混乱と社会問題の発生、軍部の台頭から日中戦争までの経過を理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(評価問題)
		学習活動 ・単元の学習を振り返り、自己の変容や課題、学習内容に対する新たな疑問・発見を理解する。 ・評価問題(単元テスト)に取り組み、振り返りシートをまとめる。 ・評価問題の実現状況に応じたコース別学習を行う。	技能・表現 ・単元の学習を振り返り、自己の変容や課題、学習内容に対する新たな疑問・発見を理解する。	知識・理解 ・単元の学習を振り返り、自己の変容や課題、学習内容に対する新たな疑問・発見を理解する。	知識・理解 ・単元の学習を振り返り、自己の変容や課題、学習内容に対する新たな疑問・発見を理解する。	

【資料2】単位時間毎の授業展開案(第1年次の授業実践)

単元名 二度の世界大戦と日本【世界恐慌と日本の中国侵略】

1 本時の目標 世界恐慌がおこった経緯をとらえ、その対策としてのニューディール政策やブロック経済、ドイツにおけるファシズムの台頭について理解する

2 展 開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資 料
導 入	1 第一次世界大戦後の様子を確認する ・第一次大戦(いつ, どこで, どのように) ・社会主義国の誕生(ロシア革命) ・国際協調の高まり(国際連盟設立など) 2 本時の学習課題を設定する ・資料を基に本時の学習課題を設定する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 世界恐慌は世界の政治や経済にどんな影響を与えたのだろうか </div>	・大戦後の列強の協調主義路線の流れを確認し, 世界恐慌以前の様子をpushさせる ・単純化して「景気」についてpushさせてから各国の失業率の推移を確認させる ・失業率の数値の比較や写真資料, 文章資料から世界恐慌の規模の大きさをイメージさせる	資料1「各国失業率の推移」 資料2「ブレットラインの写真」
展 開	3 学習課題に対する予想を考え, 発表する 4 学習の視点を確認する いつ どこで だれが 何を どのように なぜ 結果 影響 5 学習課題について調べ, 発表する (1) 世界恐慌がなぜ起きたのか調べ, 発表する ・教科書から「いつ」「どこで」世界恐慌が起きたのか確認する ・アメリカ経済とヨーロッパ市場とのかわりを単純化したモデルから「なぜ」世界恐慌が起きたのかとらえる (2) 列強の世界恐慌への対応策を調べ, 表にまとめる ・アメリカ, イギリス・フランス, ドイツ, 連がそれぞれ「どのように」世界恐慌を乗り切ろうとしたのか対策の内容を調べる ・それぞれの対応策が可能な条件について既習事項から考え, まとめる (3) 世界恐慌が国際情勢に与えた影響を考え, 発表する ・世界恐慌の前後の世界の様子をそれぞれまとめ, 変化をとらえる ・とらえた変化から, 世界恐慌が国際情勢に与えた影響について根拠を添えてまとめる	・どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認する ・株式の説明や複雑な恐慌の原因の経済的な問題には深入りせず, ものをくりすぎて起きる不景気の仕組みを単純につかませるようにする ・「関税」「社会主義」「公共事業」等言葉の意味を確認させる ・当時の経済圏の世界地図や鉱工業生産指数, 地理的分野での既習事項を基に各対応策が可能な条件を考えさせる ・日本の条件を想起させ次時の布石を打つ ・導入時に確認した第一次世界大戦後の様子を再度確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【思考・判断】 ・世界恐慌前後の国際情勢を比較し, 世界恐慌の歴史的意味について考察している。 ・他の時代の歴史上の変化を取り上げ, 具体例を示して変化を読み取り方, まとめ方を指導する。 ・前単元までの歴史の流れを確認し, 国際状況の流れに着目させるために板書内容から知識を整理させる。 </div>	資料3「不景気のしくみ」 資料4「1930年代の経済圏地図」 資料5「鉱工業生産指数」 資料6「関税の仕組み」 資料7「ナチス大会の写真」
終 末	6 本時の振り返りを行う。 ・知識の確認プリントに取組む ・本時の学習内容について関心をもったことや新たに疑問をもったことをまとめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【知識・理解】 ・世界恐慌がおこった経緯をとらえ, それに対する欧米諸国の対応について理解し, その知識を身に付けている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【関心・意欲・態度】 ・世界恐慌がおこった経緯やそれに対する欧米諸国の対応について関心や疑問をもち, 意欲的に調べようとする。 ・世界恐慌の経緯やその対応策に関する記述に対して価値付けをする。またその後の世界の様子や世界恐慌と日本の関係への関心につなげるコメントを記入する。 ・社会的な見方や考え方の育成過程のつまりの状況から次時の指導の重点化や改善につなげる。 </div>	

単元名 二度の世界大戦と日本【世界恐慌と日本の中国侵略】

1 本時の目標 世界恐慌の影響による日本経済の混乱や農業不況による国民生活の困窮の様子をとらえ、その対応策について考える

2 展 開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資 料
導 入	<p>1 前時の学習内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌(いつ, どこで) ・各国の対策(どのように) ・保護貿易, もてる国ともたざる国の対立 <p>2 本時の学習課題を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を基に本時の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 不況の中, 日本はどのような道を進むべきなのだろうか </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌によってそれまでの協調主義の流れがどのように変わったのかを確認させ, 大きな歴史の流れをとらえさせる ・日本にも世界恐慌の影響があったのか問いかけ, 数値の大きく変動している年に着目させ, 資料から影響を読み取らせる ・グラフを見る視点を確認する(標題, 出典, 単位, 年代, 脚注など) ・農村の様子を農家収入の推移や失業者数と労働争議件数の推移, 「身売り相談所」の資料から生活の困窮ぶりをイメージさせ, 日本の経済の行き詰まりの様子をつかませる 	<p>資料1 「失業者数と労働争議件数の推移」</p> <p>資料2 「農家収入の推移」</p> <p>資料3 「娘の身売り相談所」</p> <p>資料4 「新聞記事(欠食児童)」</p>
展 開	<p>3 学習課題に対する予想を考え, 発表する</p> <p>4 学習の視点を確認する</p> <p>いつ どこで だれが 何を どのように</p> <p>5 学習課題について調べ, 発表する</p> <p>(1) 「満蒙問題」に対する石橋湛山と石原莞爾の考え方を資料から読み取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「満蒙問題」の政治的メリット・デメリット, 経済的メリット, デメリットについて対照的な立場をとる二つの考え方をとらえる <p>(2) 石橋湛山と石原莞爾の考え方のどちらに近いか理由を添えてまとめる</p> <p>(3) 他の生徒と意見を交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立場を明らかにして, その根拠を述べる <p>(4) 最終的な自分の考えをまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で学習した各国の世界恐慌対策やその条件を想起させながら日本の場合にはどのような方法が考えられるか予想させる ・どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認する ・満州についての日本の権益獲得の歩みを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【技能・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「満蒙問題」に対する石原莞爾と石橋湛山のそれぞれの考えを資料から読み取っている。 ・満蒙を確保することと放棄することがそれぞれどのように日本の利益につながるのかという視点を確認し, 利益と考えられる箇所に着目させる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ネームプレートを黒板に貼らせ, 石原と石橋のそれぞれ考え方を支持する立場から根拠を明確にさせながら意見を述べさせる ・それぞれの考えに対する質問や付け足しがないか確認する ・「支持する」の度合いに注目しながら, 共感できる部分できない部分を丁寧に引き出す ・他の考えをよく聞かせ, 自分の考えとの違いはどこなのか考えさせる ・多くの犠牲を払って得た満州の権益を簡単に手放せるのか, 満州を確保することで際限なく防衛線が広がっていかないのかという視点からも自分の意見を見つめ直させる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌の影響による国民生活の困窮とその対応策について多角的に考察し, 判断している。 ・資料の具体的な主張の違いの箇所に下線を引かせ, 両者の考えを簡単に整理し, 日本の現状を具体的に指摘したり, 前時の学習内容を確認するなどして, 判断に根拠を持たせる。また, 意見交流の中で出された意見を参考にするように指示する。 </div>	<p>資料5 「満州国地図」</p> <p>資料6 「満州権益獲得の歴史」</p> <p>資料7 「満蒙問題私見」</p> <p>資料8 「大日本主義の幻想」</p>
終 末	<p>6 本時の振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容について関心をもったことや新たに疑問をもったことをまとめる 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌の影響による日本経済の混乱や農業不況による国民生活の困窮の様子やその対応策について関心や疑問をもち, 意欲的に調べようとする。 ・世界恐慌の日本への影響や日本が生き抜くための方策に関する記述に対して価値付けをする。またその後の世界の様子や世界恐慌と日本の関係への関心につなげるコメントを記入する。 ・社会的な見方や考え方の育成過程のつまずきの状況から次時の指導の重点化や改善につなげる。 </div>	

単元名 二度の世界大戦と日本【世界恐慌と日本の中国侵略】

1 本時の目標 満州事変の後、二・二六事件等の事件をきっかけに、軍部が次第に政治に対する発言力を強めていったことを理解する

2 展開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資料
導入	1 前時の学習内容を確認し、その後日本はどちらの道を行なったのか資料から確認する 2 本時の学習課題を設定する ・資料を基に本時の学習課題を設定する 満州事変以後、日本の国内政治はどのような道に進んだのだろうか	・前時にまとめられた各自の意見を紹介しながら不況下の日本の選択肢の中に満州進出と小国主義という考え方があったことを確認させ、その時日本はどのような道を進んだのか関心を高めさせる ・新聞資料の見出しに着目させ、満州に進出する道を進んだことをつかませる	資料1「新聞記事満州事変」
展開	3 学習課題に対する予想を考え、発表する。 4 学習の視点を確認する いつ どこで だれが 何を どのように なぜ 結果・影響 5 学習課題について調べ、発表する (1) 満州事変のあらましについて調べる ・いつ、だれが、何を、どのようにまで資料から簡潔に確認する ・風刺画から満州国と日本の関係を読み取り、中国(国民政府)との関係を考える (2) 五・一五事件と二・二六事件のあらましについて調べる ・いつ、だれが、何を、どのようにまで資料から簡潔に確認する ・当時の議員汚職一覧から議会政治に対する国民の思いや軍部に対する思いを考える (3) 満州事変、五・一五事件、二・二六事件が政治に及ぼした影響について考え、関係図にまとめる (4) 自分の考えをグループ内で発表し、グループごとに事件の影響を考えまとめる	・前時で学習した「満蒙問題」についての石原莞爾と石橋湛山の考え方を想起させ、予想の手がかりとする ・どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認する ・日本政府の命令で関東軍が行動したのかどうか確認させ、満州事変にかかわる関東軍と日本政府の立場の違いに気付かせる ・石原莞爾に対する処分を予想させ、処分の内容から政府の軍に対する姿勢や軍内部に与える影響に気付かせる ・地図から当時の国民政府が統一を進めていた中国国内の様子を押さえさせる ・テロの定義を確認し、この時期テロが頻発していたことをつかませる ・既習事項である都市の失業者や農村の困窮していた様子を想起させた上で議員の汚職事件の資料を提示する ・下士官層は兵士たちから農村の困窮ぶりを感じ取っていたことを補説する 【思考・判断】 ・満州事変や五・一五事件、二・二六事件の経緯をとらえ、事件の背景やその後の政治に及ぼした影響を考察している。 ・他の時代の歴史的事象を取り上げ、具体例を示して共通性を読み取り方、まとめ方を指導する。 ・具体的な出来事の影響面に着目させ、満州事変から国際連盟脱退に至る国内情勢の共通性に気付かせる。その上で三つの出来事に関連するキーワードを板書から見つけさせ、そのつながりを考えさせる。また、グループの中で出された意見を参考にするように指示する。	資料2「満州国地図」 資料3「写真簿儀」「風刺画」 資料4「写真リットン調査団」 資料5「新聞記事国際連盟脱退」 資料6「写真五・一五事件」 資料7「写真二・二六事件」 資料8「テロ事件一覧」 資料9「議員汚職一覧」
終末	6 本時の振り返りを行う ・本時の学習内容について関心をもったことや新たに疑問をもったことをまとめる	【関心・意欲・態度】 ・満州事変から国際連盟脱退までの経緯や国内政治の中で軍部の発言力が増大していったことについて関心や疑問をもち、意欲的に調べようとする。 ・世界恐慌から満州事変に至る流れや二・二六事件等の軍部の台頭に関する記述に対して価値付けをする。またその後の日本と中国の関係への関心につなげるコメントを記入する。 ・社会的な見方や考え方の育成過程のつまづきの状況から次時の指導の重点化や改善につなげる。	

単元名 二度の世界大戦と日本【世界恐慌と日本の中国侵略】

1 本時の目標 満州をめぐる対立から日中戦争が始まったことや日本政府の対応、中国の抵抗などによって戦争が長期化していったことを理解する

2 展開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資料
導入	1 前時の学習内容を確認する ・世界恐慌から満州事変に至るまでの流れ ・中国国内の内戦状況 2 本時の学習課題を設定する ・資料を基に本時の学習課題を設定する ねなぜ中国との戦争が長期化したのだろうか	・年表からこの後日中戦争が起きていることを確認させる ・資料から日清、日露、日中戦争の比較をさせ、日中戦争が長期化したことに着目させる	資料1「日清、日露、日中戦争の比較」
展開	3 学習課題に対する予想を考え、発表する 4 学習の視点を確認する いつ どこで だれが 何を どのように なぜ 結果・影響 5 学習課題について調べ、発表する (1) 日本政府の対応、意識について調べる ・盧溝橋事件のあらましを確認する ・戦況地図から気付いたことをまとめる ・政府や軍の指導者たちの証言から長期化の要因を読み取る (2) 中国の国内事情について調べる ・国共合作や援蒋ルートから中国側の抵抗の様子をとらえ、長期化の要因をとらえる (3) 長期化による国民生活や議会政治への影響について調べる (4) 斉藤隆夫の演説から日中戦争の問題点や長期化の要因を読み取る	・どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認する 【技能・表現】 ・地図を活用して日本軍の進路や占領年などから日中戦争の広がりや長期化のようすを読み取っている。 ・地図中の日付や進軍経路を示す矢印等に着目させ、いつ、どこからどこへ、どちらが優勢なのか等の広がり方を読み取らせる。 ・日本政府にとって長期化は想定外であること、中国軍に対する認識が甘かったことを証言から読み取らせ、長期化とのかかわりを考えさせる ・長期化した日中戦争を打開するために、米英との対立を生む結果を招くことになることを予想させる ・街角の看板の内容や配給制など具体的なものから国民生活への影響を考えさせる ・政府の方針のなさや国民に強いる犠牲、政治家の責任について読み取らせ、日本側の戦争目的の曖昧さが長期化の要因の一つであることをとらえさせる	資料2「写真盧溝橋」 資料3「中国地図」 資料4「日中戦争戦況地図」 資料5「証言 参謀本部、陸相、近衛文麿」 資料6「写真蒋介石」 資料7「写真援蒋ルート」 資料8「配給券」 資料9「写真看板、力士の労働等」 資料10「支那事変処理に関する質問演説」
終末	6 本時の振り返りを行う ・知識の確認プリントに取組む ・本時の学習内容について関心をもったことや新たに疑問をもったことをまとめる	【知識・理解】 ・日中戦争の経緯をとらえ、国民生活が次第に統制されていった状況を理解し、その知識を身に付けている。 【関心・意欲・態度】 ・日中戦争開戦までの経緯や戦争の長期化のあらましについて関心や疑問をもち、意欲的に調べようとする。 ・日中戦争開戦の経緯やその長期化による国民生活への影響に関する記述に対する価値付けする。またその後の日中戦争の行方への関心につなげるコメントを記入する。 ・社会的な見方や考え方の育成過程のつまずきの状況から次時の指導の重点化や改善につなげる。	

【資料3】学習プリント(第1年次の授業実践)

2年歴史 教科書 P182~183 平成 年 月 日() 番 氏名

第6章 二度の世界大戦と日本 2 世界恐慌と日本の中国侵略

学習プリント No.【 】

世界恐慌とブロック経済

2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
弥生	古墳(飛鳥)					奈良	平安			鎌倉	室町		江戸		明	昭和			

世界恐慌の前後の世界のようすを比較してみよう

世界恐慌前

世界恐慌

世界恐慌後

世界恐慌はこんな影響を与えた

なぜなら

2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
弥生		古墳(飛鳥)				奈良	平安			鎌倉	室町		江戸			明	昭和		

「満州をどうするべきか。」 あなたが日本の首相なら、どちらの意見を取りいれますか？

1 二人の考えをまとめよう。

いしはらかんじ 石原莞爾	いしばしたんざん 石橋湛山

2 自分の意見をまとめよう。

100% 莞爾

気持ちはこの辺？

100% 湛山

理由

.....

.....

.....

.....

3 最終意見をまとめよう。

100% 莞爾

気持ちはこの辺？

100% 湛山

理由

.....

.....

.....

.....

2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
弥生	古墳(飛鳥)				奈良	平安			鎌倉	室町		江戸		明	昭和				

「満州事変」、「五・一五事件」、「二・二六事件」の三つの出来事の関連を考えよう。

満州事変

2

1

3

4

五・一五事件

二・二六事件

日本と中国が戦争した時代について知っていること、思いつくことを書いてみよう。

単元後の考え

この振り返りシート見直してみて、思ったことや感じたこと、新たな疑問や発見などについてまとめよう。

単元後の考え

【振り返りシート】

第6章 二度の世界大戦と日本

世界恐慌と日本の中国侵略



2年 組 番 氏名

日本と中国が戦争した時代について知っていること，思いつくことを書いてみよう。

単元初発の考え



月 日()
今日の学習で「なるほど！」
「そうか!」と思ったことを書こう。

授業後

新たな疑問やもっと調べて
みたいことを書こう。

授業後

月 日()
今日の学習で「なるほど！」
「そうか!」と思ったことを書こう。

授業後

新たな疑問やもっと調べて
みたいことを書こう。

授業後

月 日()
今日の学習で「なるほど！」
「そうか!」と思ったことを書こう。

授業後

新たな疑問やもっと調べて
みたいことを書こう。

授業後

月 日()
今日の学習で「なるほど！」
「そうか!」と思ったことを書こう。

授業後

新たな疑問やもっと調べて
みたいことを書こう。

授業後

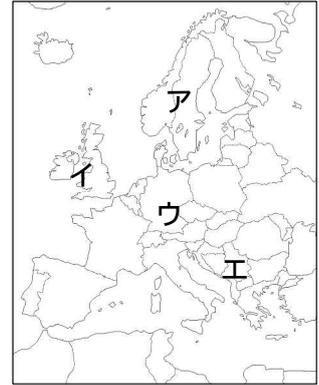
【資料5】事前テスト(第1年次の授業実践)

2年歴史 教科書 P170~181 平成 年 月 日() 番 氏名

第6章 二度の世界大戦と日本 第一次世界大戦とアジア・日本 単元テスト

1 次の各設問に答えなさい。

- (1) 第一次世界大戦の対立を生んだ「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれていた地域はどこですか。右の地図中のア~エから一つ選び、記号で答えなさい。



【知識・理解】

- (2) 第一次世界大戦は、1918年、ドイツが降伏し、翌年パリで講和会議が開かれ終結をむかえました。このときに結ばれた条約を何といいますか。

【知識・理解】

- (3) ロシアでは、大戦中に革命が起き、皇帝が退位して臨時政府ができました。大戦中にロシアで革命が起きた理由の一つを、【資料1】を使って説明しなさい。

【思考・判断, 技能・表現】

【資料1】第一次世界大戦の戦費と被害

2 次の各設問に答えなさい。

- (1) 【資料2】における1919年の日本の輸出額は、1915年の約何倍になりますか。整数で答えなさい。

【技能・表現】

- (2) 【資料2】において、日本の貿易額が急激に伸びていることが分かります。同じ頃、アメリカにおいても経済の成長が見られました。この頃日本とアメリカで経済が成長した理由として考えられることを、地理的な観点から答えなさい。

【思考・判断, 技能・表現】

表

グラフ

3 次の各設問に答えなさい。

- (1) 例1・2のようにア~キまでのカードから、自分で3枚以上取り出して、そのまとまりに表題を付けなさい。ただし例に挙げたものは除くこととします。

【思考・判断】

	記号	表題
例1	イ, オ, カ	外国でおきた出来事
例2	ア, ウ, エ, キ	日本でおきた出来事

【カード】

ア

吉野作造は普通選挙によって民意を政治に反映させることなどを主張した。

イ

第一次世界大戦後、新渡戸稲造が事務局次長を務めた国際連盟が誕生した。

ウ

1925年、加藤内閣は、25歳以上の男子に選挙権をあたえる普通選挙法を成立させた。

エ

1912年に桂内閣に対して新聞や知識人らが起こした憲政擁護運動が各地に広がり、桂内閣は退陣した。

オ

1930年、ロンドンでアメリカ、イギリス、日本の補助艦の保有率を定めた。

カ

1928年、パリで米・英・仏・日など15か国が参加し、紛争の解決手段としての戦争を否定する会議が開かれた。

キ

1918年に原敬を総理とする本格的な政党内閣が成立した。

- (2) 上のカードのうち、イのカードの国際連盟の設立を提案した人物を、次から1人選んで書きなさい。

[レーニン ガンディー 孫文 ウィルソン]

【知識・理解】

- (3) 上のカードのうち、ウのカードと同時に成立した共産主義を取りしめる法律を何といいますか。

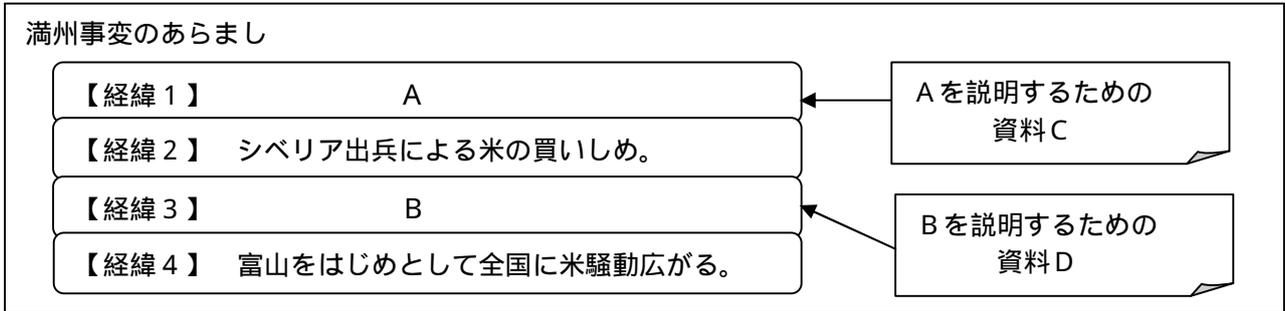
【知識・理解】

4 大正時代の文化や人々の生活のようすとして誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。【知識・理解】

- ア ラジオ放送が始まり、ラジオが急速に全国に普及した。
- イ 東京市内のバスに、女性の車掌が乗るようになった。
- ウ 新橋・横浜間に鉄道が開通し、物資の流通がさかんになった。
- エ 文学の世界では、芥川龍之介らが優れた作品を発表した。

5 一郎さんは、米騒動について調べてみようと思いました。次の各設問に答えなさい。

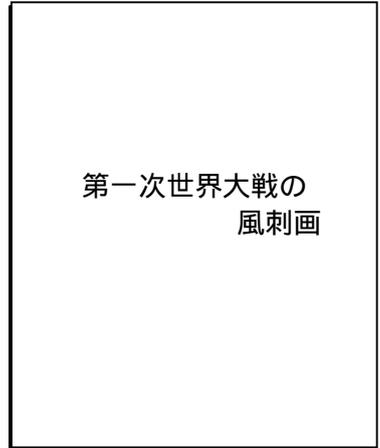
(1) まず、米騒動のあらましを図にまとめようと思いました。次の図を見て、あてはまる説明をA、Bに書きなさい。また、説明するための資料C、Dを下のア～ウから一つずつ選び、記号で答えなさい。【思考・判断】



ア 米価の移りかわり

農民は地主から解放される。労働者は資本家から解放される。なぜなら工場は労働者が統制するから。すべての者は鉄のくさりから解放される。ロシアの諸民族はすべて平等であり、あらゆる統制は廃止される。

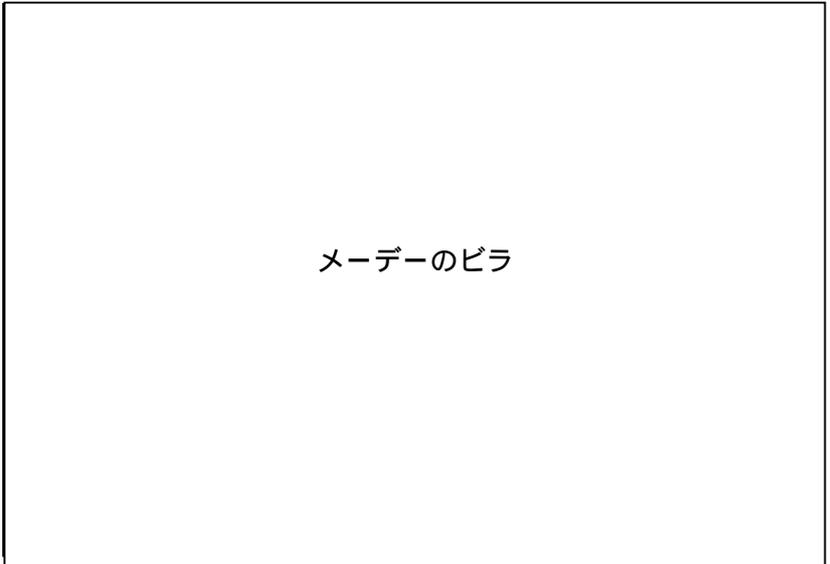
イ ロシア諸民族の権利宣言



ウ 風刺画

【資料3】日本初のメーデー

(2) 当時の新聞記事を調べました。すると、当時、労働争議がさかんに行われるようになっていたことがわかりました。【資料3】は第1回のメーデーへの参加を呼びかけるピラです。このピラから読み取れる労働者の要求を一つ答えなさい。【技能・表現】



(3) 米騒動では主婦が米屋におしかけたことがわかりました。そこで当時の女性のようすについて調べました。すると、女性差別からの解放をめざす女性運動がさかんに行われていたことがわかりました。青踏社を結成し、女性の解放を唱えた人物名を書きなさい。

また、現代において、この当時から比べると女性の社会的な地位が向上したと思われる具体例を一つ書きなさい。【思考・判断】

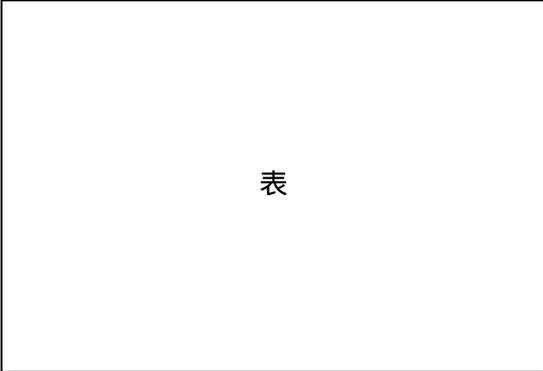
【資料6】事後テスト(第1年次の授業実践)

2年歴史 教科書 P182~189 平成20年 月 日() 番 氏名

第6章 二度の世界大戦と日本 **世界恐慌と日本の中国侵略** 単元テスト

1 次の各設問に答えなさい。

- (1) 1929年, アメリカで株価が大暴落し, 不況の波が世界中に広まりました。この出来事を何といいますか。 【知識・理解】
- (2) このころドイツでは個人の自由を否定し, 全体の目的を最優先する全体主義の考えが広まりました。この考え方を何といいますか。 【知識・理解】
- (3) ナチスが, ドイツの人々から支持を受けた理由を, 【資料1】を使って説明しなさい。 【思考・判断, 技能・表現】



表

2 次の各設問に答えなさい。

- (1) 1934年の小作争議の件数は, 1928年の約何倍になりますか。整数で答えなさい。 【技能・表現】
- (2) 【資料2】では1930年ごろから小作争議が大きく増加していることが分かります。その理由として考えられることを, 【資料3】を参考にして簡潔に答えなさい。 【思考・判断, 技能・表現】

【資料1】



グラフ



グラフ

【資料2】小作争議, 労働争議数の推移

【資料3】小作農家の収入

3 次の各設問に答えなさい。

- (1) 例1・2のようにア~キまでのカードから, 自分で3枚以上取り出して, そのまとまりに表題を付けなさい。ただし例に挙げたものは除くこととします。 【思考・判断】

	記号	表題
例1	ア, ウ, エ, キ	外国でおきた出来事
例2	イ, オ, カ	日本でおきた出来事

【カード】

ア
ヒトラーは1933年に高速自動車道路を建設し始めた。

イ
朝鮮では, 日本語の使用や姓名の表し方を日本式に改めさせることをおし進めた。

ウ
関東軍は, 奉天郊外で満州鉄道の線路を爆破し, それを機に軍事行動を開始した。

エ
ルーズベルトはテネシー川流域に多くのダムを造った。

オ
1936年, 陸軍の青年将校が, 首相官邸や警視庁などを襲撃した。

カ

(五一五事件を伝える新聞記事)

キ
イギリスは植民地との間の関税を低くし, 他国からの商品には高い関税をかけた。

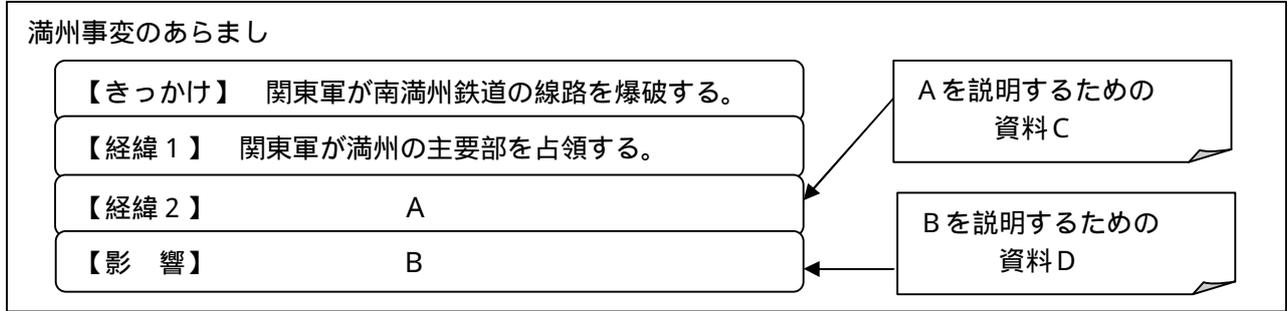
- (2) 上のカードのうち, カのカードの出来事で暗殺された首相を次から1人選んで書きなさい。 【知識・理解】
〔 原 敬 犬養 毅 浜口雄幸 近衛文麿 〕
- (3) 上のカードのうち, キのカードの内容のことを何経済と呼びますか。 【知識・理解】

4 日中戦争開戦後のようすとして誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。 【知識・理解】

- ア 中国では内戦を続けていた国民党と共産党が提携し、協力して日本に対抗することになった。
- イ 日本政府は国家総動員法を公布し、国の産業・経済から国民生活のすべてにわたって戦争に動員できる権限をもった。
- ウ 日本では軍需品の生産が優先され、生活必需品の砂糖や木炭などは切符制になり、米も配給制になった。
- エ 日本では大政翼賛会が結成され、議会での政党の活動がさかんになった。

5 一郎さんは満州事変について調べてみようと思いました。次の各設問に答えなさい。

(1) まず、満州事変のあらましを図にまとめようと思いました。次の図を見て、あてはまる説明をA、Bに書きなさい。また、説明するための資料C、Dを下のア～ウから一つずつ選び記号で答えなさい。【思考・判断】



ア 米価の移りかわり



イ 日本の新聞記事



ウ アメリカの新聞の風刺画

(2) 満州事変に関する当時の新聞記事を調べました。すると、(1)でまとめた満州事変のあらましの内容と食い違う内容が見られました。当時の新聞記事が正しく伝えていない部分はどこですか。 【技能・表現】



(3) 当時の新聞には「満州は日本の生命線である」という見出しが多く見られることが分かりました。この「満州は日本の生命線」とはどのようなこと意味しているのか書きなさい。また、この考え方をどう思いますか。根拠を示して書きなさい。 【思考・判断】

【資料7】単元の指導と評価計画表(第2年次の授業実践)

第2章 古代までの日本 【古代国家の歩みと東アジア世界】の指導と評価計画表

単元の指導目標		単元の評価規準				診断的評価で見取る思考・判断の基となる知識		
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
(1) 国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことに対する関心を高め、意欲的に追究している。 (2) 聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、撰野政治を通して、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。 (3) 国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことに関する画像や文獻などの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した結果をまとめたり、説明したりしている。 (4) 国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを、我が国の歴史とかかわる東アジアの歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。		・関心・意欲・態度 ・国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことに対する関心を高め、意欲的に追究している。	・思考・判断 ・聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、撰野政治を通して、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。	・技能・表現 ・国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことに関する画像や文獻などの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した結果をまとめたり、説明したりしている。	・知識・理解 ・国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを、我が国の歴史とかかわる東アジアの歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。	・時代区分 ・朝貢外交 ・東アジア情勢 ・聖徳太子の政治		
学習内容	時	学習目標・学習内容	学習活動における具体的評価規準			実現状況に応じた指導		
			関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断
1	大化の改新への道のり	2 学習活動 ・天皇中心の国づくりの必要性や、聖徳太子の政治や大化の改新の過程について、当時の東アジアの情勢とかかわらせて理解する。 ・東アジアと国内の情勢を確認する。 ・大和政権の仕組を調べる。 ・聖徳太子以前の国内外の様子をから、天皇中心の国づくりの必要性を考える。 ・本時の振り返りを行う。 ・聖徳太子の政治改革を調べ、「冠位十二階」「十七条の憲法」「遣隋使」の中でどの政策が天皇中心の国づくりに役立ったと思うか自分の考えをまとめる。 ・他の生徒との意見を交流する。 ・聖徳太子後の政治の流れを確認する。 ・本時の振り返りを行う。	・天皇中心の国づくりの必要性や聖徳太子の政治や大化の改新の過程について関心や疑問をもったことをシートに記入している。(振り返りシート、観察)	【因果・関連】 ・聖徳太子の政治改革と、当時の東アジア情勢とかかわりについて考察し学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)			・天皇中心の国づくりの必要性や聖徳太子の政治や大化の改新の過程に関する記述に対して価値付けをする。またその後の政治改革の様子や東アジアとかかわり関心につながるコメントを記入する。	・教科書から各政策の内容を確認させ、どんな点が豪族の力を抑え、どんな点が天皇の力を強めることになるのかという視点で考えさせる。
2	律令国家の成立	1 学習活動 ・律令制度の意義と律令制度の内容をとおして、古代国家の仕組みを理解する。 ・大宝律令の内容を確認する。 ・大化の改新から大宝律令制定までの出来事を調べ、東アジアとのかかわりから中央集権体制の進展を考える。 ・新しい支配の仕組や身分を確認する。 ・本時の振り返りを行う。			・平城京のイラストや資料から分かることを読み取り学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)	・律令制度の意義と律令制度の内容をとおして、古代国家の仕組みを理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(確認テスト)		
3	奈良時代の人々のくらし	1 学習活動 ・律令制度の基盤である公地公民の制が崩れ始めた理由を理解する。 ・奈良時代の租税の仕組を確認する。 ・戸籍の記録から農民の負担を読み取る。 ・負担を負った農民の行動を確認する。 ・聖徳太子の政治改革の前後の様子を比較し、その歴史的な意味を考え、発表する。 ・本時の振り返りを行う。	・律令制度の基盤である公地公民の制が崩れ始めた理由について関心や疑問をもったことをシートに記入している。(振り返りシート、観察)	【比較・分類】 ・聖徳太子の政治改革の前後の律令国家の様子を比較し、その歴史的な意味を考察し学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)		・律令制度の基盤である公地公民の制が崩れ始めた理由に関する記述に対して価値付けをする。またその後の律令国家に関心につながるコメントを記入する。	・公地公民の考え方とその目的を確認し、律令制度とのかかわりから大きな歴史の流れの変化を考えさせる。	
4	国際的な文化の開花	1 学習活動 ・この時代の文化が、仏教の影響、大陸との交流によって盛んになったことを理解する。 ・朝鮮と日本の仏像の類似性に気付く。 ・飛鳥文化について調べ、大陸と仏教の影響について調べる。 ・天平文化について調べ、鏡蓋の国家的性格と国際性について調べる。 ・飛鳥文化と天平文化の共通点について考え、発表する。 ・歴史書の編纂について確認する。 ・本時の振り返りを行う。			・この時代の文化が、仏教の影響、大陸との交流によって盛んになったことを理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(確認テスト)			
5	平安京と摂関政治	1 学習活動 ・藤原氏が勢力を強めていったあらしや地方政治の様子について理解する。 ・尾張国郡司百姓等解文の読み取りを行う。 ・平安京遷都のねらいと桓武天皇の改革を確認する。 ・国司の行動の背景にある律令制度の変化を考える。 ・撰野政治や藤原氏の勢力の要因について調べる。 ・国司の行動と地方政治のかかわりについて考える。 ・本時の振り返りを行う。	・藤原氏が勢力を強めていったあらしや地方政治の様子について関心や疑問をもったことをシートに記入している。(振り返りシート、観察)		・藤原氏が勢力を強めていったあらしや地方政治の様子を理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(確認テスト)	・藤原氏が勢力を強めていったあらしや地方政治の様子に対して価値付けをする。またその後の武士のおこりに関心につながるコメントを記入する。		
6	文化の国風化	1 学習活動 ・唐から伝わった新しい仏教や、国風化した文化の特色を理解する。 ・奈良時代と平安時代の文字の違いについて調べ、かな文字と国風文化のかかわりについて考える。 ・奈良時代と平安時代の仏教にちがひについて調べ、仏教の役割の変遷をとらえる。 ・平安時代の文化の特徴を考え、発表する。 ・本時の振り返りを行う。		【比較・分類】 ・この時代の文化の特徴を、かな文字の発達などからとらえ、奈良時代の文化との比較から考察し学習プリントに記入している。(学習プリントの取組状況、学習プリントの記述内容)		・かな文字の発達にみられる日本独自の文化をつかませ、大陸の影響の大きさという視点やその要因について考えさせる。		
7	単元のまとめ	2 学習活動 ・単元の学習を振り返り、自己の変容や課題、学習内容に対する新たな疑問・発見を理解する。 ・評価課題(単元テスト)に取り組む。 ・振り返りシートをまとめる。 ・評価課題の実現状況に応じたコース別学習を行う。	・国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことについて、社会的事象や因果関係をとらえ、新たな疑問や具体的な疑問をもったことをシートに記入している。(振り返りシート)	・聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、撰野政治を通して、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察させるテストの問いに対し、授業での成果を基に解答している。(評価課題)	・国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことに関する画像や文獻などの様々な資料を収集し、適切に選択して活用させるテストの問いに対し、授業での成果を基に解答している。(評価課題)	・国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを、我が国の歴史とかかわる東アジアの歴史を背景に理解し、身に付けた知識を問うテストに解答している。(評価課題)	・国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことに対する価値付けをする。単元をとおしての変容を肯定的にとらえることができるように努力をたたえるコメントを記入する。	・聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、撰野政治を通して、基本的な知識や歴史の流れを図式化して構造的に確認させる。 ・発展学習においては、生徒自身が視点を決めて単元の歴史の流れを図式化する作業を行わせる。

【資料 8】 単位時間毎の授業展開案(第 2 年次の授業実践)

単元名 古代国家の歩みと東アジア世界【古代までの日本】

1 本時の目標 天皇中心の国づくりの必要性について、当時の国内情勢や東アジアの情勢とかかわらせて理解する

2 展開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資料
導入	<p>1 小学校で学習した聖徳太子に関する内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十七条の憲法, 遣隋使など <p>2 本時の学習課題を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を基に本時の学習課題を設定する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>なぜ聖徳太子は天皇中心の国づくりを目指したのだろうか</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での既習事項を想起させ, 聖徳太子に関する知識を整理させる ・聖徳太子の政治目的は, 天皇中心の国づくりであったことを確認させる 	資料1「17 条憲法, 小野妹子, 法隆寺, 蘇我氏との関係図」
展開	<p>3 学習の視点を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子以前の政権の様子 ・東アジアの様子 <p>4 学習課題について調べ, 発表する</p> <p>(1) 聖徳太子以前の国外の様子を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮半島情勢 ・中国との関係 ・隋の出現による周辺の国々への影響 <p>(2) 聖徳太子以前の国内外の様子を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和政権の勢力拡張の様子 ・豪族の力(財力, 兵力)と大王との関係 ・豪族の反乱や豪族同士の争いの様子 <p>(3) 聖徳太子以前の国内外の様子から, 天皇中心の国づくりの必要性を考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認させ, 学習の見通しをもたせる ・学習の前提となる知識として時代区分や地名を確認させる ・朝貢について前単元の学習内容を想起させながら身近な生活を例にして確認させ, 東アジアにおける日本の立場を考えさせる ・大和政権が諸豪族の連合政権であり, 有力豪族の思惑で政治が決定していた様子を古墳の広がりや大きさの比較などの資料からとらえさせる ・年表から豪族の反乱や争いの多さに着目させ, 政権にとって危機的な状況であったことをとらえさせる ・それまでの中国の動向が東アジアに常に影響を与えてきたことを朝鮮半島情勢とかかわらせて確認させ, 国内情勢に与える影響について考えさせる ・大和政権の仕組みのままのデメリットと天皇中心の仕組みの場合のメリットを, 政権の安定という視点を与えて考えさせる ・天皇中心の国づくりが古代の重要なテーマになっていくことを確認させる 	<p>資料2「4～5 世紀の東アジア略図」</p> <p>資料3「古墳分布図」</p> <p>資料4「巨大古墳ベスト 20」</p> <p>資料5「4～6 世紀年表」</p>
終末	<p>5 本時の振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識の確認プリントに取り組む ・本時の学習内容について関心をもったことや新たに疑問をもったことをまとめる 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇中心の国づくりの必要性について理解し, 身に付けた知識を問うペーパーテストに解答している。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇中心の国づくりの必要性や聖徳太子の政治や大化の改新の過程について関心や疑問をもったことをシートに記入している。 ・天皇中心の国づくりの必要性に関する記述に対して価値付けをする。またその後の聖徳太子の政策へ関心をつなげるコメントを記入する。 ・社会的な見方や考え方の育成過程のつまずきの状況から次時の指導の重点化や改善につなげる。 </div>	

単元名 古代国家の歩みと東アジア世界【古代までの日本】

1 本時の目標 聖徳太子の政治や大化の改新の過程について、当時の東アジアの情勢とかかわらせて理解する

2 展開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資料
導入	<p>1 前時の学習内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～5世紀の国内外の様子 ・ 聖徳太子が目指した国づくり <p>2 本時の学習課題を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を基に本時の学習課題を設定する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>聖徳太子が行った政治は、どのように天皇中心の国づくりにつながったのだろうか</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一回遣隋使による外交失敗の様子から、倭国が国家としての形が出来上がっていなかったことをとらえさせ、聖徳太子の政治と天皇中心の国づくりのかかわりに関心をもたせる 	資料1「隋書」
展開	<p>3 学習の視点を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「冠位十二階」「十七条の憲法」「遣隋使」の各政策の内容と意義 <p>4 学習課題について調べ、発表する</p> <p>(1) 「冠位十二階」「十七条の憲法」「遣隋使」がどのように天皇中心の国づくりにつながったのか資料から読み取り、発表する</p> <p>(2) 「冠位十二階」「十七条の憲法」「遣隋使」の中でどの政策が天皇中心の国づくりに一番役立ったと思うか理由を添えてまとめる</p> <p>(3) 他の生徒と意見を交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立場を明らかにして、その根拠を述べる <p>(4) 聖徳太子後の政治の流れをとらえる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認させ、学習の見通しをもたせる ・ それぞれの内容について全体で確認し、理解のレベルを揃えてから自分の考えをまとめさせる ・ それ以前の日本の政治の姿とかかわらせて自分の考えをまとめさせる ・ 調査作業が進んでいる生徒には補助資料を与えながら見方を広げさせる ・ 他の考えをよく聞かせ、自分の考えとの違いはどこなのか考えさせる ・ 根拠をどう価値付けるかによって、様々な見方ができることに気付かせる ・ 発表を聞いて自分との共通点や相違点を整理させ、自分の考えを見つめ直させる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聖徳太子の政治改革と中央集権国家を目指した国づくりとのかかわりを学習プリントに記入している。 ・ 教科書から各政策の内容を確認させ、どんな点が豪族の力を抑え、どんな点が天皇の力を強めることになるのかという視点から考えさせる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大化の改新が天皇中心の国づくりの流れを変えるものなのか、進めるものなのかという視点から古代の歴史の流れをとらえさせる 	
終末	<p>6 本時の振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習内容について関心をもったことや新たに疑問をもったことをまとめる 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天皇中心の国づくりの必要性や聖徳太子の政治や大化の改新の過程について関心や疑問をもったことをシートに記入している。 ・ 聖徳太子の政治や大化の改新の過程に関する記述に対して価値付けをする。またその後の政治改革の様子や東アジアとのかかわりに関心がつながるコメントを記入する。 ・ 社会的な見方や考え方の育成過程のつまりの状況から次時の指導の重点化や改善につなげる。 </div>	

単元名 古代国家の歩みと東アジア世界【古代までの日本】

1 本時の目標 律令制度の意義と内容から古代国家の仕組みを理解する

2 展開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資料
導入	<p>1 前時の学習内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇中心の国づくりの流れ <p>2 平城京の資料から読み取れることを書き出し, 発表する</p> <p>3 本時の学習課題を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を基に本時の学習課題を設定する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 天皇中心の国づくりはどのように完成したのだろうか </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【技能・表現】 ・平城京のイラストや資料から当時の都の様子として分かることを読み取り, 学習プリントに記入している。 ・広さ, 形状, 建物, 道路, 門, 名称などに着目させて書かせる。また他の都と比較させ, その特徴を考えさせる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・時代区分を確認させ, 東大寺盧舎那仏像など小学校での既習事項を想起させる ・唐の影響の大きさを教科書から確認させる(貨幣への影響にも触れる) ・天皇の力の増大ぶりを都の様子や他の都との比較からとらえさせる 	<p>資料1「平城京の様子」</p> <p>資料2「浄御原宮の様子」</p> <p>資料3「和同開珎と唐の貨幣」</p>
展開	<p>4 学習の視点を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宝律令の内容と制定までの道のり <p>5 学習課題について調べ, 発表する</p> <p>(1) 律令国家の成立までの歩みについて調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白村江の戦いは対外戦争であり, その敗戦が, 国防や律令国家の必要性を増幅させた ・壬申の乱は古代最大の内戦であり, その結果は王権を強め, 旧来の豪族の多くが没落した <p>(2) 大宝律令の内容について調べ, 律令国家の意義を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公地公民制 ・中央政府と地方制度 ・太子以来の中央集権国家の建設の完成 <p>(3) 新たな支配の仕組みや身分について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身分制度が整えられ, 貴族などの特権階級と奴隷階級が生まれた 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認させ, 学習の見通しをもたせる ・イラストから, どこから攻めてくる敵を防ぐためのものか考えさせ, 水城の様子から白村江の戦いが対外戦争であったことをとらえさせる ・今までの戦いの経過資料から唐や新羅に対する警戒心をとらえさせ, 敗戦後に何をすればよいのか考えさせる ・天武天皇の業績から, 壬申の乱後に律令国家に向けた制度が急速に整えられていく過程をとらえさせる ・律令国家の仕組みの中で公地公民に着目させ, 律令制度は単なる法改革ではなく土地改革を伴っていることをとらえさせる ・国司は中央から派遣されていたことの意義を天皇中心の国づくりという視点から考えさせる ・「天皇中心の国づくり」「律令国家」は, 中央集権国家の建設という概念で結び付くことをとらえさせる ・高級貴族の禄と現在の内閣総理大臣などの年収を比較し, その莫大な財力に気付かせるとともに負担する側の存在に気付かせて次時の布石とする 	<p>資料4「2官8省の仕組」</p> <p>資料5「水城」</p> <p>資料6「大野城」</p> <p>資料7「7世紀東アジア地図」</p> <p>資料8「身分制度ピラミッド図」</p>
終末	<p>6 本時の振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識確認のプリントに取り組む 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【知識・理解】 ・律令制度の意義と律令制度の内容をとおして, 古代国家の仕組みを理解し, 身に付けた知識を問うべーパーテストに解答している。 </div>	

単元名 古代国家の歩みと東アジア世界【古代までの日本】

1 本時の目標 初期荘園が広がり始めた背景について理解する

2 展開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資料
導入	<p>1 前時の学習内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> 大宝律令の制定によって律令国家の建設の完成をみる <p>2 奈良時代の農民の生活にかかわる資料の読み取りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の土地を離れる農民が多い <p>3 本時の学習課題を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を基に本時の学習課題を設定する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なぜ農民たちは自分の土地を捨てて離れていくのだろうか</p> </div>	<p>・ 豎穴住居から奈良時代の農民のイメージを広げさせる</p> <p>・ 家族構成図から当時の身分制度や集落の在り方について説明する</p>	<p>資料1「豎穴住居」</p> <p>資料2「出雲臣真足」</p>
展開	<p>4 学習の視点を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> 農民と土地の様子 <p>5 学習課題について調べ、発表する</p> <p>(1) 奈良時代の農民の負担について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> 公地公民の実現と班田収授法の実施 租、調、庸、労役などの税の負担 税をのがれるための逃亡者 <p>(2) 口分田不足の対応策について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然災害、農民の逃亡による田の荒廃、人口の増加などによって口分田が不足した 墾田永年私財法を出し、土地の私有を認めた 貴族や寺院は、さかんに開墾を行い、私有地を広げた <p>(3) 墾田永年私財法の歴史的意義を考え、発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> 墾田永年私財法の施行は、土地制度の転換点であり、初期荘園の広がりをもたらした 	<p>・ どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認させ、学習の見通しをもたせる</p> <p>・ 公地公民は律令国家とセットであることを確認させ、土地制度の変化の様子をつかみやすくさせる</p> <p>・ 前時の学習を想起させ、支配層の財力を支える仕組みがどうなっているのか関心をもちさせる</p> <p>・ 律令制度の地方支配の仕組みと国司の役割について確認させ、班田収授と国司の関係をとらえさせる</p> <p>・ 調と庸の税の運搬についてどんな点が大変なのか考えさせ、負担の大きさをとらえさせる</p> <p>・ 墾田永年私財法の内容からそれまでの制度の欠陥を読み取らせ、公地公民の律令制度のもとでどんな条件であれば土地の開墾が進むのか考えさせる</p> <p>・ 開墾を進めるための費用について説明し、前時の既習事項を生かしてその財力をもっている者はだれか考えさせる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 墾田永年私財法の前後の律令国家の様子を比較し、その変化について学習プリントに記入している。 </div> <p>・ 公地公民の考え方とその目的を確認し、律令制度とのかかわりから大きな歴史の流れの変化を考えさせる。</p>	<p>資料3「地方から都までの運脚日数」</p> <p>資料4「人口の推移」</p> <p>資料5「墾田永年私財法」</p>
終末	<p>6 本時の振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容について関心をもちたことや新たに疑問をもちたことをまとめる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期荘園が広がり始めた背景について関心や疑問をもちたことをシートに記入している。 初期荘園が広がり始めた背景に関する記述に対する価値付けする。またその後の律令制度の行方への関心につなげるコメントを記入する。 社会的な見方や考え方の育成過程のつまずきの状況から次時の指導の重点化や改善につなげる。 </div>	

単元名 古代国家の歩みと東アジア世界【古代までの日本】

1 本時の目標 この時代の文化が、仏教の影響や大陸との交流によってさかんになったことを理解する

2 展開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資料
導入	<p>1 前時の学習内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・律令国家の完成と土地制度の転換 ・時代区分 <p>2 本時の学習課題を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を基に本時の学習課題を設定する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>二つの壁画は、どちらが先に描かれたものだろうか</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの壁画を比較させ、類似点を挙げさせる ・別々の国で描かれたものであることを確認する 	<p>資料1「アジャンタ石窟の壁画」 資料2「法隆寺金堂の壁画」</p>
展開	<p>3 学習の視点を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥時代と奈良時代の文化の内容と特色 <p>4 学習課題について調べ、発表する</p> <p>(1) 飛鳥文化について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このころの文化財は、インドや中国、西アジアの影響を受けている ・仏教にかかわるものが多いことが共通点として挙げられる ・このころの文化を飛鳥文化という <p>(2) 天平文化について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このころの仏教は、鎮護国家の性格が強い ・このころの文化財は国際色が豊かである ・このころの文化を天平文化という <p>(3) 飛鳥文化と天平文化の共通点を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このころの文化は、仏教の影響や大陸との交流によってさかんになった <p>(4) 歴史書の編纂について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古事記 日本書紀 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認させ、学習の見通しをもたせる ・石仏、水差し、エンタシスについて大陸のものと比較させ、共通点を考えさせる ・白地図に地名を記入させ、文化圏の広がりをとらえさせる ・既習事項のシルクロードについて確認させ、日本とのかかわりをとらえさせる ・飛鳥文化の寺院と比較し、その大きさ、施工主、寺の数から、鎮護国家の性格をとらえさせる ・正倉院の宝物に描かれている動物などに気付かせ、国際的な色彩をもつ文化の特徴をとらえさせる ・大仏や正倉院、鑑真など小学校の既習事項を想起させながら天平文化の特徴をとらえさせる ・古代の東アジアとの交流の在り方を確認させ、東アジアの日本への影響をとらえさせる ・編纂時期を調べさせ、天皇中心の国づくりが完成した時期に国の歴史書がまとめられる理由を考えさせる 	<p>資料3「広隆寺弥勒菩薩半跏思惟像」 資料4「新羅弥勒菩薩半跏思惟像」 資料5「法隆寺釈迦如来像」 資料6「竜頭水瓶」 資料7「法隆寺回廊」 資料8「8世紀世界地図」 資料9「東大寺と法隆寺」 資料10「国分寺・国分尼寺分布図」</p>
終末	<p>5 本時の振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識確認のプリントに取り組む 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この時代の文化が、仏教の影響、大陸との交流によって盛んになったことを理解し、身に付けた知識を問うペーパーテストに解答している。 </div>	

単元名 古代国家の歩みと東アジア世界【古代までの日本】

1 本時の目標 藤原氏が勢力を強めたあらしや地方の政治の様子について理解する

2 展開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資料
導入	1 前時の学習内容を確認する <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴族身分の誕生 ・ 貴族の生活 2 本時の学習課題を設定する <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を基に本時の学習課題を設定する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> なぜこのころの国司は横暴な行動をとるようになったのだろうか </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料から農民たちが国司に苦しめられていた様子を読み取らせる ・ 農民たちがどんな行動にでたのか考えさせる ・ その後の国司の境遇からこのような国司は特別ではないことをとらえさせる 	資料1「愛知の歴史ものがたり」 資料2「尾張国郡司百姓等解文」
展開	3 学習の視点を確認する <ul style="list-style-type: none"> ・ 元命が派遣されてきた都(朝廷)の様子と時代背景 4 学習課題について調べ, 発表する <p>(1) 時代背景について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平安時代の期間 ・ 東北地方に朝廷の勢力が広がった <p>(2) 都の様子について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤原氏が朝廷の高い官職を独占していた ・ 摂関政治の定義 ・ 娘を天皇の妃にして外戚関係をつくっていた ・ 多くの荘園が寄進されるようになっていた <p>(3) 国司の行動について考え, 発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央での出世が望めない下級貴族は, 国司となって収入を増やすことだけに腐心するようになり, 地方の政治は乱れた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認させ, 学習の見通しをもたせる ・ 学習の前提となる知識として遷都について, いつ・だれが・なぜを教科書から確認させる ・ 東北支配の様子を歴史地図から読み取らせ, 日本列島 = 日本国ではないことをとらえさせる ・ 身分制度について既習事項を確認させ, 貴族は一元的な身分ではなく細かな階層に分かれていることをとらえさせる ・ 家系図を読み取らせ, 藤原氏の娘や孫と天皇家の関係を とらえさせる ・ 前時の墾田永年私財法の学習を想起させて土地私有化の流れを確認させ, 荘園の発生とのかかわりをとらえさせる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【技能・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤原氏が勢力を強めていったあらしに関する資料を収集し必要な情報を読み取り, 学習プリントに記入している。 ・ 公卿の占有率や荘園の寄進の増加, 天皇家との関係を示す資料を教科書等から具体的に指摘させ, 勢力拡大に関する情報を整理してまとめさせる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方の政治が乱れていく中で, どのようにして自分たちの土地を守っていこうとする行動があらわれるのか考えさせ, 次単元の「武士のおこり」の学習に関心をつなげる 	資料3「平城京・平安京」 資料4「東北支配図」 資料5「身分制度」 資料6「家系図」
終末	5 本時の振り返りを行う <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識確認のプリントに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・ 藤原氏が勢力を強めていったあらしや地方政治の様子について関心や疑問をもったことをシートに記入している。 ・ 藤原氏が勢力を強めていったあらしや地方の政治の様子に関する記述に対する価値付けする。またその後の武士のおこりに関心につなげるコメントを記入する。 ・ 社会的な見方や考え方の育成過程のつまずきの状況から次時の指導の重点化や改善につなげる。 	

単元名 古代国家の歩みと東アジア世界【古代までの日本】

1 本時の目標 唐から伝わった新しい仏教や、国風化した文化の特色を理解する

2 展開

段階	学習活動	指導上の留意点(・), 評価と実現状況に応じた指導()	資料
導入	<p>1 前時の学習内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平安京遷都 ・摂関政治 <p>2 本時の学習課題を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を基に本時の学習課題を設定する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>奈良時代と平安時代の文化の違いは何だろう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを使いながらテンポよく行う ・奈良時代と平安時代の貴族の服装の違いを読み取らせ中国の影響の度合いを考えさせる 	<p>資料1「朝服姿, 束帯, 女房装束」</p>
展開	<p>3 学習の視点を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字と仏教に関する違い <p>4 学習課題について調べ, 発表する</p> <p>(1) 文字の違いについて調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万葉仮名とかな文字の違い ・かな文字と国風文化のかかわり ・代表的な文学作品 ・国風化の要因 <p>(2) 仏教の違いについて調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴族から見た奈良仏教と平安仏教の役割の違い ・社会情勢と浄土思想とのかかわり ・代表的な阿彌陀堂建築 <p>(3) 平安時代の文化の特徴を考え, 発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐の文化を踏まえながらも, 日本の風土や生活, 日本人の感情に合った文化をつくりだしていった 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことを調べて学習課題を追究するのか確認させ, 学習の見通しをもたせる ・前単元の既習事項を想起させながら, 文字の存在が文明の発展にどのようにかわるのか考えさせ, 文字の重要性を確認させる ・漢字の当て字の例を挙げながら, 万葉仮名のイメージをもたせる ・ひらがなとカタカナそれぞれの文字の形状のイメージを挙げさせ, 表現用途について考えさせる ・他国の文字を略して自国の文字にする日本人の特性についても触れる ・奈良時代の代表的な寺院と延暦寺, 金剛峯寺が建っている場所を比較させて, 奈良時代の仏教の役割との違いを考えさせる ・天台宗・真言宗の教義については触れない ・如来について簡単に説明し, 現在普及している仏教のイメージにつなげさせる ・厳しい戒律を必要としないことに着目させ, 浄土信仰の広がりをとらえさせる ・奈良時代の文化との類似点, 相違点を前時の学習を想起させながら考えさせる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この時代の文化の特徴を, かな文字の発達などからとらえ, 奈良時代の文化との違いについて学習プリントに記入している。 ・かな文字の発達にみられる日本独自の文化をつかませ, 大陸の影響の大きさの度合いやその要因について考えさせる。 </div>	<p>資料2「楔形文字, ヒエログリフ, 甲骨文字, インダス文字」</p> <p>資料3「万葉仮名」</p> <p>資料4「近畿地図」</p> <p>資料5「往生要集」</p> <p>資料6「平等院鳳凰堂, 中尊寺金色堂」</p>
終末	<p>5 本時の振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥文化, 天平文化, 国風文化の特徴を比較し, 年表にまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する文化財や人物に着目させながら年表をまとめさせ知識の定着を図る 	

【資料9】学習プリント(第2年次の授業実践)

1年歴史 教科書 P32~33 平成 年 月 日() 番 氏名

第2章 古代までの日本 2 古代国家の歩みと東アジア世界

学習プリント No.【 】

大化の改新への道のり

2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
弥生	古墳(飛鳥)			奈良			平安			鎌倉		室町		江戸		明	昭和		



【学習課題】

1 聖徳太子が行った政策について調べよう。

	内容	どのように天皇中心の国づくりにつながる？
冠位十二階	1	2
十七条の憲法	3	4
遣隋使	5	6

2 自分の意見をまとめよう。

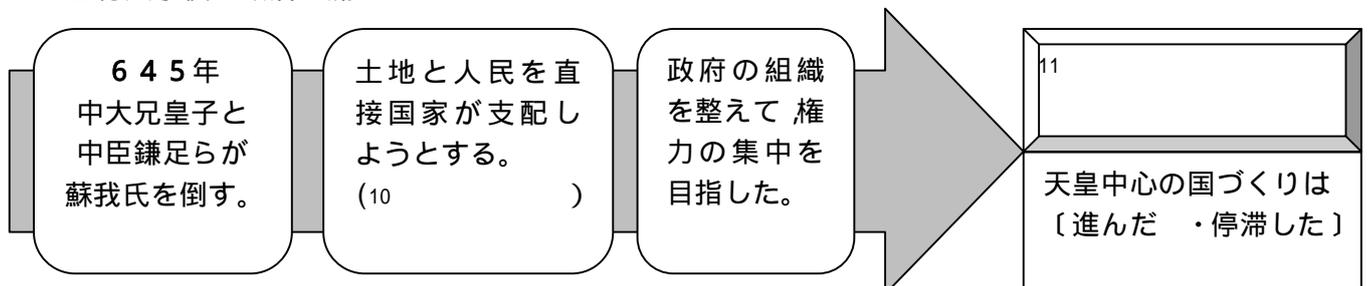
私は が天皇中心の国づくりに一番役立ったと思う。
なぜなら

8

3 友だちの考えを聞いて「なるほど」「そうか」「そのとおり」と思ったことを書いてみよう。

9

4 聖徳太子後の政治の流れ



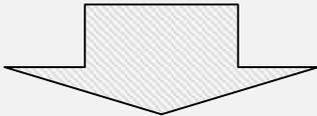
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
弥生	古墳(飛鳥)		奈良	平安			鎌倉	室町	江戸		明	昭和							

「墾田永年私財法」の前後の土地制度の比較して、歴史の流れをとらえよう。

以前の土地制度

墾田永年私財法

以後の土地制度



「墾田永年私財法」は歴史の流れをこう変えた

友だちの考えを聞いて「なるほど」「そうか」「そのとおり」と思ったことを書いてみよう。

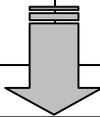
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
弥生		古墳(飛鳥)			奈良		平安			鎌倉		室町		江戸			明	昭和	

【学習課題】

1 「文字」から比べてみよう

奈良時代 	平安時代 
1	2

どのような変化が見られる？

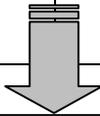


3

2 「仏教」から比べてみよう

奈良時代 	平安時代 
4	5

どのような変化が見られる？



6

3 友だちの考えを聞いて「なるほど」「そうか」「そのとおり」と思ったことを書いてみよう。

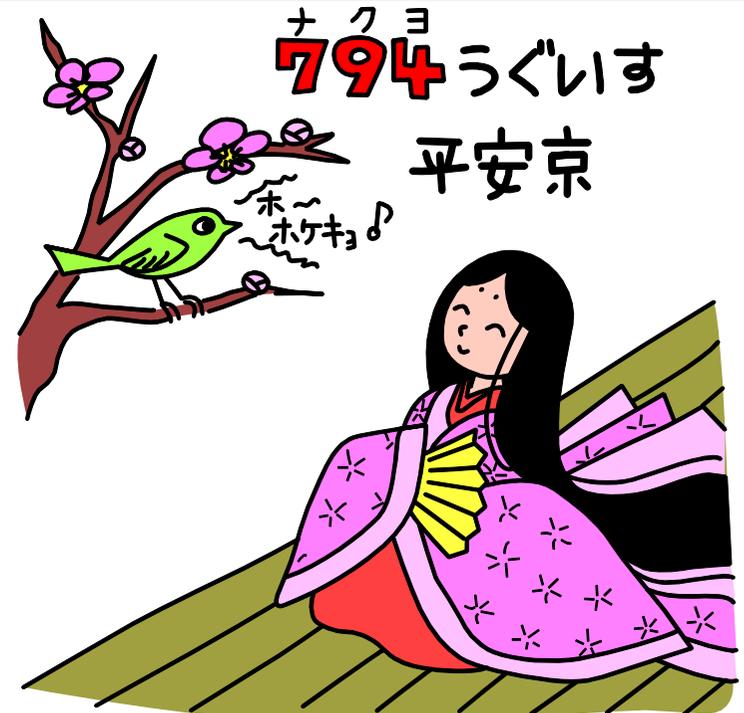
聖徳太子が活躍した時代や奈良時代，平安時代について知っていること，思いつくことを書いてみよう。

この振り返りシート見直してみて，思ったことや感じたこと，新たな疑問や発見などについてまとめよう。

【振り返りシート】

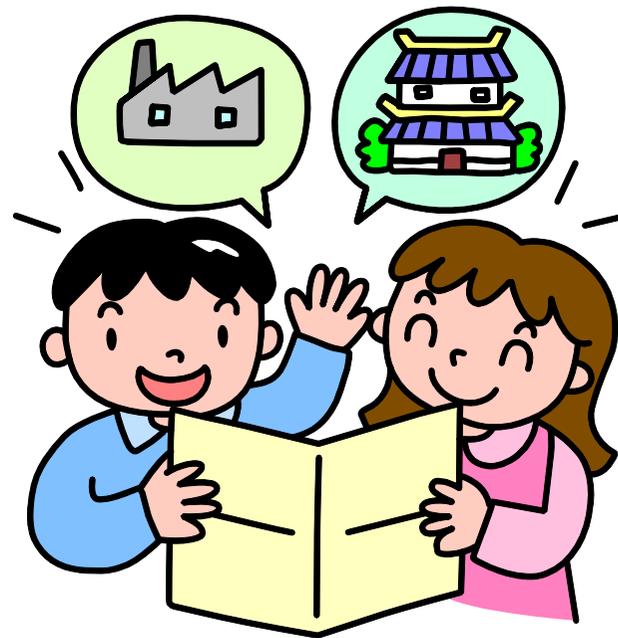
第2章 古代までの日本

古代国家の歩みと 東アジア世界



1年 組 番 氏名

聖徳太子が活躍した時代や奈良時代，平安時代について知っていること，思いつくことを書いてみよう。



月 日()
今日の学習で「なるほど!」
「そうか!」と思ったことを書こう。

新たな疑問やもっと調べて
みたいことを書こう。

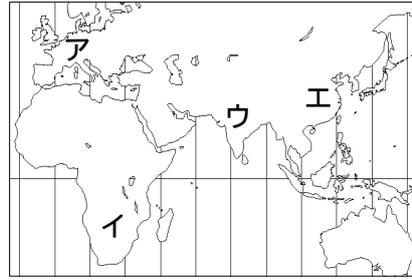
【資料11】事前テスト(第2年次の授業実践)

歴史 教科書 P14~27 平成 年 月 日() 番 氏名

第2章 古代までの日本 文明のおこりと日本の成り立ち 単元テスト

1 次の各設問に答えなさい。

- (1) 最も古い人類である猿人の化石が発見された場所を、右の地図中のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。【知識・理解】
- (2) 旧石器時代には、石を打ち欠いたするどい刃をもつ道具を使い、狩りや採集を行っていましたが、この道具を何というか答えなさい。



【資料1】



【知識・理解】

- (3) 鳴門海峡(四国と兵庫県淡路島の間)周辺の海底からナウマンゾウの化石がよく見つかります。なぜ海底からナウマンゾウの化石が見つかるのか【資料1】を参考にし、次の語句を使って説明しなさい。

【海水面 氷河時代】 【思考・判断, 技能・表現】

2 次の各設問に答えなさい。

- (1) 【資料2】において、ナイル川の9月の水位は、5月の約何倍になりますか。ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 4倍 イ 6倍 ウ 8倍

【技能・表現】

- (2) 古代エジプトでは、ナイル川のはんらんを利用して農耕が行われていました。【資料2】と【資料3】を参考にして、エジプトで小麦の種をまくのに最も適している時期をア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

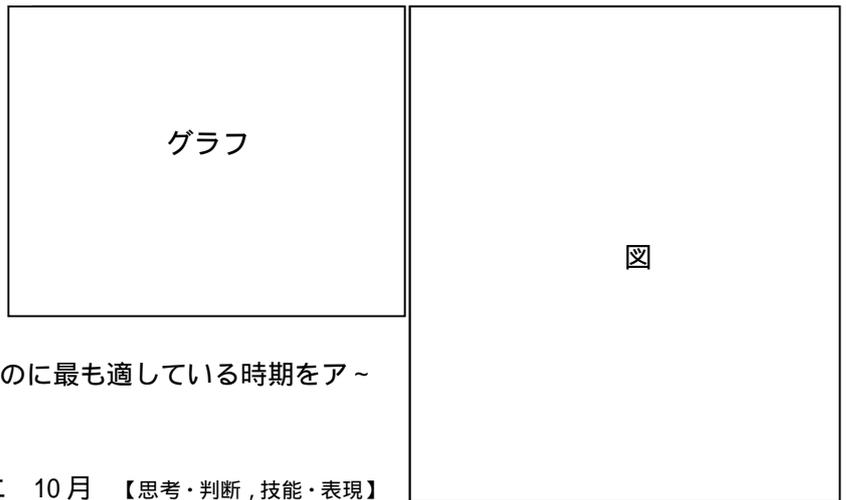
また、その理由も答えなさい。

ア 1月 イ 4月 ウ 7月 エ 10月 【思考・判断, 技能・表現】

- (3) 古代エジプトの王にとってナイル川がはんらんすることの良い点と悪い点についてあなたの考えを書きなさい。 【思考・判断】

【資料2】ナイル川の水位の変化

【資料3】



3 次の各設問に答えなさい。

- (1) 次のア～カまでのカードは日本列島の様子を示したものです。例1・2のようにカードのなかから、自分で3枚以上取り出して、そのまとまりに表題を付けなさい。ただし例に挙げたものは除くこととします。

【思考・判断】

	記号	表題
例	ア, イ, オ	つくられた道具やもの

【カード】

ア 銅鐸や銅鏡など祭りのために使われた青銅器がさかんにつくられた。	イ 魔よけや食物の豊かさを祈るために使われたと思われる土偶がつけられた。	ウ はじめて中国の歴史書に日本列島の国々様子が記された。
エ 100余りの国があり、なかには、中国へ使いを送る国もあった。	オ 表面に縄目のような文様が付けられている土器がつけられた。	カ たて穴住居に定住を始め、植物の栽培や狩猟を中心に生活した。

- (2) 上のカードのうち、アの青銅器と同じころに日本列島に伝わったものを、次から一つ選んで書きなさい。

{ 石器 骨角器 土器 鉄器 }

【知識・理解】

- (3) 上のカードのうち、カのころの食べ残りがすなどが層をなしている遺跡を何といひますか。【知識・理解】

4 中国の古代文明のようすとして誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

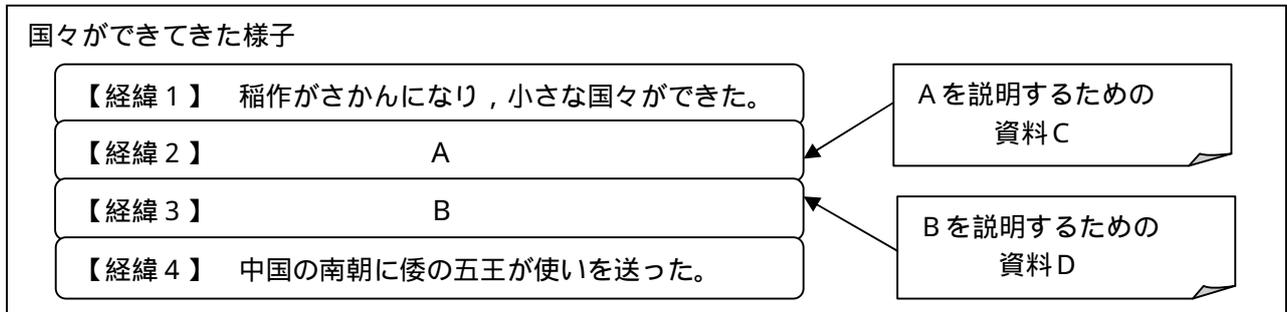
【知識・理解】

- ア 殷の時代には、優れた青銅器や漢字のもとになった甲骨文字がつくられた。
- イ 春秋・戦国時代には、多くの国が争い、この混乱期に儒教が生まれた。
- ウ 秦の始皇帝は、南方の遊牧民の侵入を防ぐために、万里の長城を築いた。
- エ 漢の時代には、絹の道を通して、インドでおこった仏教などが中国に伝わった。

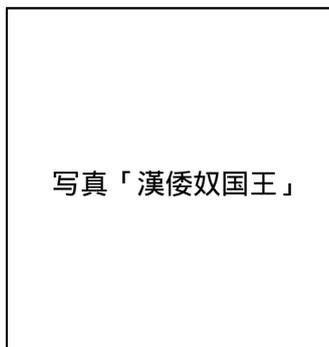
5 一郎さんは古代までの日本や世界の様子について調べてみようと思いました。次の各設問に答えなさい。

(1) まず、日本列島に国々ができてきた様子をまとめようと思いました。次の図を見て、あてはまる説明をA、Bに書きなさい。また、説明するための資料C、Dを下のア～ウから一つずつ選び、記号で答えなさい。

【思考・判断】



ア



イ

その国の王はもとは男であったが、戦乱が続いたので、国々が共同して女王をたてた。女王は神に仕え、人々の心をひきつける不思議な力をもっていた。夫はなく、弟が女王を助けて国を治めていた。

ウ



【資料 4】朝鮮半島にある石碑の文

石碑とは：ある事を記念して、石に文を彫って建てたもの

(2) 4世紀ごろ大和政権の力が高まったことを示す資料として【資料 4】の石碑があることが分かりました。なぜこの石碑の文が大和政権の力が高まったことを示すことになるのかその理由を石碑の文から読み取って答えなさい。

【技能・表現】

(3) このころ【資料 4】のがある朝鮮半島から日本列島に移り住み大陸の進んだ技術などを伝えた人々を何といひますか。

【知識・理解】

(4) 中国の古代文明のほかに別な地域の古代文明も調べてみました。すると古代文明が発達した理由には様々要因があることが分かりました。

そこで、次に挙げる一郎さんが考えた古代文明の発達の要因のなかで、あなたが最も重要であると思うものを選び、その理由を書きなさい。

【思考・判断】

百済、新羅は古くから高句麗に従っていたが、391年に倭が攻めてきて百済と新羅を従えてしまった。そのため396年、好太王が水軍を率いて百済に従うように誓わせた。しかし399年、百済がその誓いを破り、倭と通じていたため、軍を進めた。そのころ新羅が好太王に救いを求めてきたので、倭から新羅を助けた。

文字の使用 金属器の使用 暦の使用

【資料12】事後テスト(第2年次の授業実践)

1年歴史 教科書 P32~43 平成 年 月 日() 番 氏名

第2章 古代までの日本 古代国家の歩みと東アジア世界 単元テスト

1 次の各設問に答えなさい。

(1) 聖徳太子が定めたといわれ、仏教や儒学の考えを取り入れ、天皇の命令に従うべきことなど、役人の心構え示したものを何といいますか。 【知識・理解】

(2) 聖徳太子が、その進んだ制度や文化を取り入れようと、小野妹子らをつかわした国を、地図中のア



6世紀末の地図

【資料1】(2)の国の年表

- 581 建国
- 607 小野妹子が使いとして来る
- 608 日本に使いをよこす
- 612 高句麗に出兵
- 613 高句麗に2回目の出兵
- 614 高句麗に3回目の出兵
- 618 滅亡

~エから一つ選び、記号で答えなさい。【知識・理解】

(3) (2)の国の皇帝は、小野妹子が提出した日本の国書の内容に怒ったが、翌年使いを送り日本と友好関係を保っている。日本と友好関係を保とうとした理由として【資料1】から考えられることを、次の語句を使って説明しなさい。【高句麗 日本】 【思考・判断、技能・表現】

2 次の各設問に答えなさい。

(1) 【資料2】の家族において、逃亡した農民の人数についてどんなことがいえますか。ア~ウから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 逃亡した農民の方が多い
- イ 残った農民の方が多い
- ウ 逃亡した人数と残った人数は同じ

【技能・表現】

【資料2】



【資料3】

聞くとところによると、開墾した田は、法律によって期限が満了になると、普通の口分田のように国に返すことになっている。今後は、開墾した田は自由に私財とし、期限を設けずに、すべて永久に国に返さずにはいけない。

(2) 【資料3】の法律が出された理由のひとつを、【資料2】から説明しなさい。【思考・判断、技能・表現】

(3) 【資料3】によって土地制度は大きく変化しました。この変化は、朝廷にとって良かったことだと思いますか、あまり良くなかったことだと思いますか。理由をそえて、あなたの考えを書きなさい。 【思考・判断】

3 次の各設問に答えなさい。

(1) 次のア~カまでのカードは奈良時代の様子を示したものです。例のようにカードのなかから、自分で3枚以上取り出して、そのまとまりに表題を付けなさい。ただし例に挙げたものは除くこととします。

【思考・判断】

	記号	表題
例	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	奈良時代の様子

【カード】

<p>ア 兵士のなかには、防人として、九州北部の防衛に送られる者もいた。</p>	<p>ウ 隋にかわって中国を統一した唐に、たびたび遣唐使を送った。</p>	<p>オ 写真「弥勒菩薩像」</p>	<p>カ その地域の特産物や布を都まで運んで納めた。</p>
<p>イ 国司のもとで土木作業などを一定期間行った。</p>	<p>エ 写真「正倉院」</p>		

(2) 上のカードのうち、アの防人の歌もおさめられている奈良時代の和歌集を、次から一つ選んで書きなさい。

- { 万葉集 古事記 日本書紀 古今和歌集 }

【知識・理解】

(3) 上のカードのうち、エの建築物を何といいますか。

【知識・理解】

4 桓武天皇のころのようすとして誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

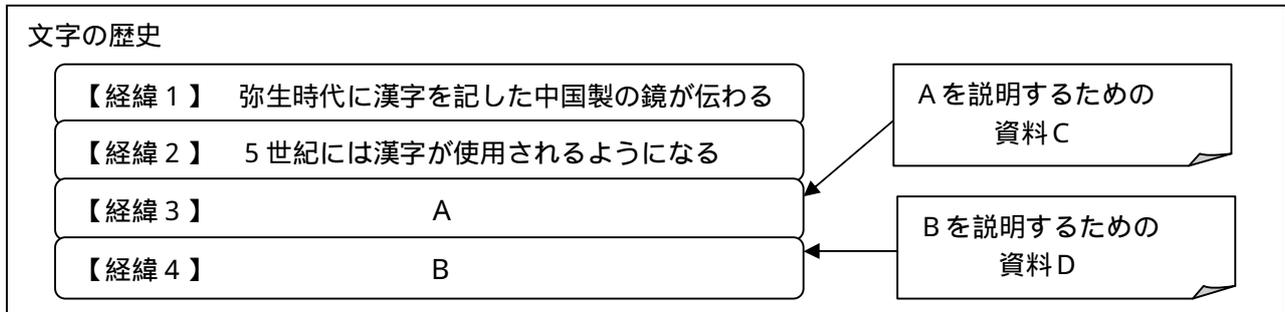
【知識・理解】

- ア 貴族や僧の争いで政治が乱れたので、長岡京に都を移し、さらに794年に平安京に都を移した。
- イ 桓武天皇は班田収受のあり方を現実に合うように改め、それを実施する国司をきびしく監視した。
- ウ 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し、蝦夷の住む東北地方に派遣して、律令国家の領域を拡大した。
- エ 仏教の力で国を守ろうとして、国ごとに国分寺を建て、都に東大寺を建てて大仏をつくらせた。

5 一郎さんは奈良時代や平安時代の様子について調べてみようと思いました。次の各設問に答えなさい。

(1) まず、古代の日本における文字の歴史をまとめようと思いました。次の図を見て、あてはまる説明をA、Bに書きなさい。また、説明するための資料C、Dを下のア～ウから一つずつ選び、記号で答えなさい。

【思考・判断】



ア

イ

ウ

【万葉集の中の和歌】

茜草指武良前野
 逝標野行
 野守者不見哉
 君之袖布流

写真「漢倭奴国王」

図「かな文字の成り立ち」

(2) 平安時代に藤原氏がどのようにして勢力をのばしたのか調べました。その理由として【資料4】から分かることを答えなさい。

【技能・表現】

(3) 古代日本の国づくりは、中央集権国家としての律令国家の建設を目指していたことが分かりました。その律令国家の完成の時期を701年に律令が制定された時であるとまとめました。この律令を何といいますか。

【知識・理解】

(4) 律令国家の完成には、様々な出来事が影響して律令国家づくりが進んだことが分かりました。

そこで、次に挙げる一郎さんが調べた律令国家づくりを進めた要因のなかで、あなたが最も重要であると思うものを選び、その理由を書きなさい。

【思考・判断】

- ・ 壬申の乱がおこる
- ・ 白村江の戦いに敗れる
- ・ 中大兄皇子らが蘇我氏を倒す

【資料4】

天皇家と藤原氏の系図

【資料13】意識調査用紙(第2年次の授業実践)

1年歴史 平成20年9月16日(火) 番 氏名

歴史学習についてのアンケート

このアンケート調査は、成績には関係ありません。どうすればみなさんの歴史学習の理解がもっと深まるのかを調査するためのものです。

次の質問に対して、ふだんの歴史学習の授業を思い出して、あなたの考えや気持ちに一番近い数字を でかこんで下さい。

- 4・・・いつも そうしている
- 3・・・ときどき そうしている
- 2・・・あまり そうしていない
- 1・・・まったく そうしていない



- 1 授業中、この時間は何を学習するのか(学習課題)を理解して学習していますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 2 出来事と出来事のあいだには、どんな共通点があるか考えて学習していますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 3 学習した出来事や時代、人物などについて自分の考えをまとめていますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 4 学習課題を解決するために、何を調べればいいのか考えて学習していますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 5 出来事と出来事は、どのように影響し合っているのか考えて学習していますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 6 学習した資料や友だちの意見などを参考にして、自分の考えをまとめていますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 7 資料やグラフ、写真などから「なぜだろう」「どうしてだろう」と考えて学習していますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 8 時代と時代のあいだや、出来事と出来事のあいだに、どんな変化があるか考えて学習していますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 9 学習したことから、「もっと調べてみたい」「ここはどうなっているのだろう」と新たな疑問や関心をもっていますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 10 資料やグラフ、写真などから、分かることを読み取りながら学習していますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 11 学習した時代は、どんな特徴をもった時代か考えていますか。 4 - 3 - 2 - 1
- 12 歴史で学習したことで現在の生活や社会とのつながりを考えていますか。 4 - 3 - 2 - 1